

令和八年度

高等学校入学者選抜学力検査問題

国語

注意事項

- 一 問題は、一ページから七ページまであります。
- 二 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

— 次の文章には、陸上部に所属する中学二年生の山根朝佳<sup>あきか</sup>が、病院で診察を受けたときのことと、それ以降のことが書かれている。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(15点)

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(注) ① しらがまじりの頭。 ② ここでは、ラジオ番組の進行を担当する人。

③ 親しげで楽しそうに。

④ 朝佳が関本先生に話した、最近仲良くなった同級生。

⑤ ここでは、ラジオ番組で募っている短めの文章のこと。

⑥ 見た目を変えて表現すること。 ⑦ ここでは、イラストのこと。

⑧ ラジオ番組に参加するとき用いる名前。

⑨ タカ科の鳥で、トビのこと。

(上田聡子「あの子の隣で待つ春は」による。)

問一 二重傍線(=)部⑥、⑦のひらがなを漢字に直し、⑧、⑨の漢字に読みがなをつけなさい。

問二 次のア、イの中から、波線(〰)部と同じ構成の熟語を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 海底 イ 仰天 ウ 残留 エ 年少

問三 朝佳は、関本先生から、朝佳を見て感じ取ったことを伝えられ、傍線部1のようになった。朝佳が傍線部1のようになった、関本先生が感じ取り伝えたこととはどのようなことか。簡単に書きなさい。

問四 本文には、移りゆく風景を見た朝佳が、自分自身の心境の変化を感じたことが分かる一文がある。その一文の、最初の五字を抜き出さなさい。

問五 次のア、イの中から、傍線部2と傍線部3から分かる柚葉の心情の説明として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 音読を提案されたときは自分と同じ考えに驚いたが、朝佳の音読を聞いて自分の考えの正しさを確信している。

イ 音読を提案されたときは無神経な発言に怒りを感じたが、朝佳の音読を聞いて読み方の工夫に満足している。

ウ 音読を提案されたときはからかわれることを心配したが、朝佳の音読を聞いて自分の能力の高さを自慢している。

エ 音読を提案されたときは自信がなくて不安だったが、朝佳の音読を聞いて音読の効果に興奮している。

問六 柚葉の原稿を音読した朝佳は、音読に対する柚葉の言葉を聞いて、どのようなことに気づいたか。朝佳が気づいたことを、柚葉に対して再度原稿を読むことを願い出るとどめたときの朝佳の状況が分かるように、五十字程度で書きなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、文章中の ① ～ ⑤ は、段落を示す番号である。(13点)

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(光嶋裕介「建築における撤退の可能性について」による。)

- (注) ① ここでは、考え方や仕組みの見直しなど、方向転換すること。  
② ここでは、改修すること。 ③ ここでは、主要な場所のこと。  
④ 完全に果たして。 ⑤ 絶えず。 ⑥ 建築理論の一つ。  
⑦ 時代や用途の変化に応じて建築や都市も変化していくべきであるとする考え。

問一 二重傍線(〓)部⑥の漢字に読みがなをつけ、⑦のひらがなを漢字に直しなさい。

問二 波線(〰)部ア～オの中には、品詞の分類からみて同じものがある。それは、どれとどれか。記号で答えなさい。

問三 筆者は、傍線(――)部のように、新築工事の必要性について疑問を述べている。筆者が述べている、新築工事の必要性を考えると、住宅の新築着工件数に対してふまえておくべき日本の現状を、二つ書きなさい。

問四 本文中の A C のそれぞれに補う言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 線 B 点 C 点  
イ A 点 B 線 C 点  
ウ A 線 B 点 C 線  
エ A 点 B 線 C 線

問五 本文の 4 の段落は、文章の構成上、どのような役割を持っているか。その役割を説明したものとして最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 3 の段落までの主張に反論する例をあげ、2 の段落で述べた仮説について検証している。  
イ 3 の段落までとは異なる視点を示し、2 の段落で提起した問題に対する答えを導き出している。  
ウ 3 の段落までの内容を補足し、5 の段落で述べる主張に近づけている。  
エ 5 の段落で結論を述べるため、3 の段落までの内容から仮説を立てている。

問六 筆者は、開発が進んだ日本において、撤退によってどのようなことが可能になると述べているか。建築における撤退の一つである、リノベーション的感覚とはどのような姿勢が分かるように、五十字程度で書きなさい。

三 次の文章は、環境委員会の委員長が、昼の放送で連絡事項を伝達するためにまとめている原稿である。あなたは、環境委員会の委員長から原稿についての助言を頼まれた。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(9点)

学校の隣の南公園は、この辺りで最も広い公園です。公園内はいつもきれいで、気持ちよく過ごすことができます。散歩をしたり、くつろいだりする地域の方々の姿をよく見かけます。また、四季折々の花が私たちを癒やします。

先日私は、自治会長の原さんにお目にかかる機会があり、公園の清掃は、原さんたち近所のみなさんが行っていることを知りました。原さんは、秋から冬にかけては、落ち葉の量が、自分たちでは処理しきれないほど多く、困っているとおっしゃっていました。

そこで環境委員会では、みんなで落ち葉拾いをすることにしました。落ち葉拾いは、いつも公園内をきれいにしてください。原さんたちと行います。さまざまな場面で、私たちは、地域の方々のお世話になっています。南公園を地域の方々が利用しているところを何度も目に見ています。日ごろの感謝の気持ちを込めて、みなさんも落ち葉拾いに参加しませんか。

実施日は、十二月四日と五日です。それぞれの放課後に三十分間行います。どちらか一日の参加でも構いません。

詳しくは、各教室に掲示する案内をご覧ください。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

問一 傍線部1を、「私たちは」を主語にした表現に直しなさい。

問二 傍線部2の敬語の説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「会う」の尊敬語で、「原さん」に対する敬意を示す表現。

イ 「会う」の尊敬語で、「聞き手」に対する敬意を示す表現。

ウ 「会う」の謙譲語で、「原さん」に対する敬意を示す表現。

エ 「会う」の謙譲語で、「聞き手」に対する敬意を示す表現。

問三 次のア～エの中から、傍線部3とほぼ同じ意味で用いられる慣用語として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 手に余る イ 手を染める

ウ 腕が鳴る エ 腕を振るう

問四 本文中の、第三段落において、第一段落の内容と重なりがあるために、ある一文を削除したい。その一文の、最初の五字を抜き出しなさい。

問五 原稿を読んだあなたは、この放送の目的を冒頭で示したほうが聞き手が理解しやすくなると思った。本文中の②の内容をふまえ、放送の冒頭でこの放送の目的を示すのに適切な一文を考え、「環境委員会から、」の書き出しで書きなさい。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(7点)

注① ほかわらんとす

細川三斎は茶事の好すぐれて、名物の茶器もあまた所持なりしとて、  
茶道 ゆい箱のある 数多く持つていたというので

注②

堀田加賀守正盛の威権専なりし時、茶を好みければ、某をして  
威力と権力が増して 命じて 何とかがという人に

秘蔵の道具一覽したきよしを申し入れたり。三斎諾して日を期し、  
大切にしまつ 一通り目を通したいこと 承諾して 定めて

正盛を迎へ種々の馳走をはり、いざ道具をと物数取り出だしたるが、  
もてなしが 多数のものを

注③

皆武具なりける。正盛かねての所存に違ひ、いと不興なりしかども、  
前から心に思うところと すつかり興がさめたが

さあらぬふりして厚く謝して帰りぬ。後日、某参りていかで茶器を  
何でもなし 感謝して帰った どうして

見せたまはざりしと申しければ、三斎、いやとよ、加州が道具見たきと  
お見せにならなかつたのか いや、そうて 正盛 見たい

いはるるよしぞ此通りせしにあらずや。およそ武家にて何の道具と  
おつしやるから したのではないか そもそも武士として

ささずして単に道具とのみいふは、武具ならずして何をいふべきと  
定めなごいで いうだろうか いや、いわない

答へしとぞ。

(松浦静山『甲子夜話』による。)

(注) ① 細川忠興。安土桃山時代から江戸時代初期の武士。

② 堀田正盛。江戸時代前期の武士。 ③ よろいなどの戦いに用いる道具。

問一 二重傍線(=)部を、現代かなづかいで書きなさい。

問二 波線(〰)部ア、エの中で、その主語に当たるものが正盛であるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問三 正盛が傍線(―)部のように三斎に依頼したのは、三斎がどのよな道具を数多く持つていたからか。三斎が数多く持つていた道具を、本文中から五字で抜き出しなさい。

問四 三斎は、正盛の思うところとは異なる行動を取っている。三斎が、正盛の思うところとは異なる行動を取ったのはなぜか。その理由を、三斎が述べている、正盛が三斎に伝えた言葉と、武士としての発言についての三斎の考えが分かるように、現代語で簡単に書きなさい。

五 あなたのクラスでは、国語の授業で、次の  の中の文章が紹介された。あなたは、この文章の傍線(――)部について、どのようなことを考えるか。あなたが考えたことを、あなたがそのように考えた理由を含めて書きなさい。ただし、次の条件1、2にしたがうこと。(6点)

条件1 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

条件2 字数は、百五十文字以上、百八十文字以内とすること。

(著作権上の都合により省略)